

## 令和7年1月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年1月分について、輸出は「自動車の部分品」、「電気回路等の機器」などが減少したものの、「半導体等電子部品」、「原動機」、「電気計測機器」などが増加したことから対前年同月比14.0%の増加となった。また、輸入は「医薬品」、「半導体等電子部品」などが減少したものの、「原動機」、「半導体等製造装置」、「通信機」などが増加したことから、同23.0%の増加となった。

その結果、差引額は279億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	947億円	+14.0%	1,225億円	+23.0%	▲279億円	+68.0%
	4カ月連続の増加		20カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 半導体等電子部品	121億円	+16.5%	輸入	増加品目	(1) 原動機	266億円	+79.4%	
		(2) 原動機	58億円	+24.4%			(2) 半導体等製造装置	52億円	+526.7%	
		(3) 電気計測機器	59億円	+16.2%			(3) 通信機	44億円	+175.7%	
	減少品目	(1) 自動車の部分品	30億円	▲17.6%		減少品目	(1) 医薬品	108億円	▲34.4%	
		(2) 電気回路等の機器	40億円	▲7.0%			(2) 半導体等電子部品	166億円	▲10.8%	
		(3) 染料・なめし剤及び着色剤	5億円	▲35.1%			(3) 魚介類及び同調製品	16億円	▲32.5%	
	主要地域 増減	アジア、EU、アメリカが増加				主要地域 増減	アメリカ、アジアが増加、EUは減少			

（参考）ドルレートは、157.20円（前年同月比9.2%、13.25円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税關長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。